

町政にご理解とご支援を



訓子府町
議会議員
橋本 憲治

町民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返ってみますと日本の経済は、着実に景気を持ち直しつつあると言われていますが、依然として失業率が高水準にあるなど厳しい状況です。

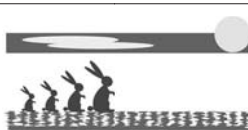
それに伴い、地方行財政を取り巻く状況は一層厳しさを増していましたが、町の大きな財源であります地方交付税は、若干回復したことに加え、国の度重なる経済危機対策などにより、比較的スムーズな財政運営となり、財政健全化戦略プランも集中対策期間の目標を上回る成果となりました。しかし、今後、普通交付税の算定基礎となる国勢調査人口の減少による影響を考えますと依存財源は減少する可能性が高いことが予想されます。

本町議会におきまして、おそらく議会史上初めて、全議員によって臨時会の招集を請求し、きたみらい農業協同組合、訓子府町農民連盟、訓子府町農民組合から提出されたT P P交渉参加中止を求める要請書について審議し、T P Pに参加することは、農業への影響が非常に大きいことが懸念され、本町の農業にとっても深刻な打撃となることから、議員提案による「T P P交渉参加の中止を求める要望意見書」を採択しました。

今春の統一地方選挙まで、残り少ない期間ではありますが、町政の課題を慎重に審議し、町民の皆さまの期待に沿うよう最後まで努力する決意であります。また、統一地方選挙後においては、新たな構成により議決機関としての役割を果たし、町、議会、そして町民の皆さまと、町全体が一丸となり、町政の抱えている諸課題の解決に向けた取り組みと議会の活性化を図っていきたいと考えています。

今後とも、町政に対し皆さまのより一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、今年も皆さまにとりまして、より素晴らしい年でありますよう心からご祈念申し上げます。

今年の主役は



私たち

昭和 62 年生まれ
濱田美沙子さん（緑 丘）



一昨年に農業実習生として訓子府町へ来ました。昨年は、結婚をするなど転機の年でした。酪農をしているので、今年は仕事に慣れることを目標にしたいですね。そのためにもまず、体調管理に気をつけたいと思います。

卯 う どし 年

明けましておめでとうございます。本年もよろしく
お願いいたします。
今年は「卯年」です。12年に一度迎える年男、年女の方に新年の抱負などをうかがいました。



南部
穂風さん
（東幸町）

昨年は、バレーボールの管内大会で2位になることができました。今年は、管内で優勝し、金道大会出場を目標にがんばります。勉強では、苦手の理科に力を入れたと思います。



下田
将弘くん
（日出）

昨年は、宿泊学習があり、サロマ湖でいろいろな遊んだことが、とても楽しい思い出です。今年は6年生になるので、漢字の勉強やスケートをはりばんりたいと思います。



会田
芳仁くん
（高園）

昨年は、宿泊学習で力ヌーに初めて乗ることができました。訓小スクールバンドで大太鼓を担当しています。さらに上達するように練習をはりばんります。



田中
麻鈴さん
（日出町）

昨年の宿泊学習で、力ヌーやいかだに乗ったことがとても楽しかったです。今年は、勉強では理科、児童会では委員会を一生懸命がんばります。



八鍬
朱里さん
（東町）

昨年12月にピアノの発表会に出て、上手に弾くことができました。今年もピアノの練習をはりばんるほか、水泳の大会で全道大会に出場したいです。中学生に向けて英語を勉強します。



林
竜斗くん
（穂波）

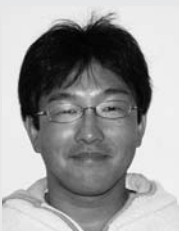
昨年の宿泊学習で、キャンプファイアをしたことが思い出に残っています。漢字が苦手なので、今年は一生涯勉強して、漢字のテストで良い成績を取りたいです。

昭和 38 年生まれ
小林まゆみさん
（北 栄）



昨年は、札幌に二女の高校バレーボール大会へ応援に行くことができ、良い思い出になりました。今年は、まず家族の健康第一。そして夫婦で旅行やプロ野球観戦に行くことができればいいですね。

昭和 50 年生まれ
黒河 潤さん
（福 野）



昨年は畑作があまり良くありませんでしたが、水稲は、良い出来秋でした。稲作農家が減っていますが、今まで以上に誇りをもって米作りをやっていきます。また、三女が生まれ、父親としてさらにがんばります。

昭和 26 年生まれ
長尾 咲子さん
（栄 町）



昨年は、初孫が誕生し、とても良い一年でした。今年は60歳になりますが、還暦という実感は湧きませんね。ただ、健康に注意し、もうしばらくは元気に働いていこうと考えています。

昭和 14 年生まれ
廣部 正雄さん
（末広町）



自分で野菜を作っており、昨年の猛暑・多雨が、野菜の生育に影響が出て驚きました。今年も家族みんな健康で過ごし、私は、これまで通りスポーツやボランティア活動ができればいいですね。

年男・年女の方にお話をうかがいました

理想のまちづくりへまい進



訓子府町長
菊池 一春

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は、町の基幹産業であります農業に関して、6月から9月にかけて記録的な高温が続いたほか、農耕期に雨の多い年でもありました。この影響で畑作三品・玉ねぎをはじめ各作物で軒並み減収となり、温暖化による影響が今後も懸念されています。

水田の戸別所得補償モデル対策が開始され、23年度からは畑作を含めた戸別所得補償制度が本格実施されますが、予算の確保など不透明な状況です。また、同時期に政府がT P P交渉への参加を打ち出すなど、その対応に大きな疑問を感じているところです。今後とも、J Aきたみらいをはじめ関係機関・団体と一丸となり、農業の継続的発展に向け、各種施策を積極的に進めていきたいと考えています。

私は訓子府町長に就任以来、終始一貫「みんなで創る訓子府の元気」を考え、「訓子府の底力でふるさとの未来をひらく」ために、「町民こそが主役」「町民福祉の増進を図る」ことを基本理念とし、この理念に基づき、各種施策を実施してきたところです。

昨年は、財政健全化戦略プランを着実に進めながら、念願の「訓子府町子育て支援センター」の開設、訓子府小学校および居武士小学校体育館の耐震補強工事を実施したほか、安心して子育てができる環境づくりの充実に向けました。さらに「夜間町長室開放」などでの生の声を参考とさせていただき、さまざまな課題の一つひとつ取り組んできました。

また、高知県津野町との姉妹町交流事業では、未来を担う子どもたちを育てるため、小学生を対象とした交換留学を実施していますが、昨年はさらにJ Aきたみらいや生産組織などの協力を得ながら両町の特産品の販売への相互協力や、津野町への神楽鑑賞町民訪問団派遣など、さまざまな分野での活発な交流を実施することができました。

今年も「町民こそが主役」の観点から「まちづくり推進委員会」を中心に、皆さまの町づくりへの参画とお力添えをいただきながら、理想の町づくりへまい進してまいります。